

令和7年産米穀出荷契約状況

令和7年6月30日現在

1. 水稲作付面積及び出荷契約数量(主食用、業務用、輸出入、米粉用、飼料用)

単位:戸、a、俵

地区名	営農計画俵数	水稲作付実績			出荷契約内訳				出荷契約反収		営農計画対比
		戸数	作付面積	生産俵数	契約戸数	契約面積	契約俵数	内)クミカン俵数	種子面積を含む	種子面積を除く	
滝川地区	48,127.0	72	92,630.90	89,852.0	60	85,821.90	39,834.5	38,704.5	4.3	4.3	80.4%
江部乙地区	63,921.0	100	130,469.10	126,555.0	78	103,874.73	39,532.2	37,952.2	3.0	3.6	59.4%
赤平地区	28,686.0	37	40,990.20	39,487.2	37	38,391.10	29,210.5	27,327.5	7.1	7.1	95.3%
芦別地区	49,824.0	103	142,723.60	136,301.0	78	93,519.97	38,737.0	36,965.0	2.7	2.7	74.2%
うるち計	190,558.0	312	406,813.80	20,232.60	253	321,607.70	147,314.2	140,949.2	3.6	3.8	74.0%
芦別もち	12,015.0	12	15,950.10	2,170.00	12	15,580.77	11,686.0	11,686.0	7.3	8.5	97.3%
合計	202,573.0	324	422,763.90	22,402.60	265	337,188.47	159,000.2	152,635.2	3.8	4.0	75.3%

2. 用途別契約内訳

単位:a、俵

地区名	主食用米(業務用含む)					輸出入米、加工米、米粉					飼料用米				
	営農計画数量	契約面積	契約数量	営農計画対比	営農計画対比	営農計画数量	契約面積	契約数量	営農計画対比	営農計画対比	営農計画数量	契約面積	契約数量	営農計画対比	営農計画対比
滝川地区	45,168.0	80,053.06	36,500.0	35,370.0	78.3%	1,550.0	3,250.44	2,323.5	2,323.5	149.9%	1,409.0	2,518.40	1,011.0	1,011.0	71.8%
江部乙地区	60,572.0	98,927.07	35,586.0	34,006.0	56.1%	1,567.0	2,976.76	2,513.5	2,513.5	160.4%	1,782.0	1,970.90	1,432.7	1,432.7	80.4%
赤平地区	28,297.0	38,312.70	29,135.0	27,252.0	96.3%	0.0	0.00	0.0	0.0	#DIV/0!	389.0	78.40	75.5	75.5	19.4%
芦別地区	47,536.0	75,109.83	38,598.0	36,826.0	77.5%	798.0	18,227.14	139.0	139.0	17.4%	1,490.0	183.00	0.0	0.0	0.0%
うるち計	181,573.0	292,402.66	139,819.0	133,454.0	73.5%	3,915.0	24,454.34	4,976.0	4,976.0	127.1%	5,070.0	4,750.70	2,519.2	2,519.2	49.7%
芦別もち	10,675.0	12,875.15	9,374.0	9,374.0	87.8%	1,340.0	2,705.62	2,312.0	2,312.0	172.5%	0.0	0.00	0.0	0.0	-
合計	192,248.0	305,277.81	149,193.0	142,828.0	74.3%	5,255.0	27,159.96	7,288.0	7,288.0	138.7%	5,070.0	4,750.70	2,519.2	2,519.2	49.7%

★資材部よりお知らせ

組合員の皆様には、日頃より各資材店舗をご利用いただき誠に有難うございます。

●パレット返却のお願い

農協パレットや肥料メーカーのパレットが組合員宅にありましたら、なにとぞご返却にご協力をお願いいたします。

●肥料価格情勢について

令和8営農年度における輸入肥料原料の国際市況は、令和3年から4年にかけて乱高下したのち、需要国向けの荷動き回復を背景に高値で推移しており、今後も各品目ともに市況の上昇が懸念されます。

外国為替市場は、日米金利差を背景に円安傾向で推移する中、米国の関税方針などにより短期間で大きく変動するなど不安定な動きとなっております。輸入原料価格は国際市況を厳しく見通しましたが、安定供給維持のため、ホクレンとしては「肥料価格対策」で3億円、施肥銘柄普及推進対策2億円を継続実施し、結果、前年対比加重平均で5・5%の値上げでの決定に至りました。昨年からの変更点もございますので、詳細につきましては、肥料推進時または資材部各資材店までご確認をお願い申し上げます。